

栄養指導実習について

北 村 武 長*
 芦 田 輝 子**
 小 松 初 子**

総 論

本学に於ける栄養指導実習の実 際について

緒 言

栄養指導とは、栄養士の業務一般を指すのであるという事はここに言をまつまでもなく、又栄養士の業務には文字通りの栄養の指導という業務の他、¹「栄養を与える」という任務も付与されている事周知の通りである。栄養士養成課程（以下養成課程という）の必修科目として指定されている「栄養指導」は、広義の栄養指導即ち栄養士の業務一般を授業するものと解されるが、（註1）前者即ち狭義の栄養指導は、栄養学、食品学、公衆衛生学等の学理の応用面が多く、即ち「栄養を与える」業務には、実務に関する技術及び知識を多く必要とする事になる。一方現実の栄養士業務は狭義の栄養指導と、上記「栄養を与える」業務、との二通りに分離した形で行われている。前者は主として衛生関係官庁に於ける行政面に表われているが、後者は、その他多くの病院、工場、学校等に於て特別調理、集団給食等という形に於て行われている。いきおい栄養士としての需要は後者の業務に従事する者に多くあつまる訳である。従つて、養成課程の科目としての「栄養指導」も、実務指導としての色彩が濃厚である。しかし、養成課程が大学・短大に設けられている意義は授業科目との関連上単に便利であるというにとどまるのであろうか。実務に於ては人間関係の調整が極めて必要であるが、そのための一般教養が、栄養士としての必修科目以外に与えられる事は、勿論好ましい事であるとは一般に考えられるところである。又しかし、その上に吾々は、広義の栄養指導の状態をあらゆる面から調査・検討し、単なる連絡、紹介にとどまらぬ研究の分野を拓く事が、この場では可能であると考え、その試みをはじめたのである。又同巧の方々の討論の機会も漸次もつようにしたいと考えている。

ここに掲げる第一稿は、上記の意味の研究の第一段階として養成課程の成立と、栄養指導実習の実際運営に当つての現況を紹介し、総論とした。

第1章 栄養士養成施設の設置

栄養士養成施設の設置（註2）に関する、栄養士法施行規則の当該条文は下記の通りである。

第7条 法第2条第1項第1号に規定する指定を受けようとする養成施設の設置者は養成施設を設立しようとする日の4ヶ月前までに次の各号に掲げる事項を記載した申請書を厚生大臣に提出しなければならない

1. 養成施設の名称、所在地及び設立予定年月日
2. 設置者の氏名及び住所
3. 養成施設の長の氏名及び住所
4. 学則
5. 入所資格
6. 修業年限、教科課程及び各科目ごとの授業時数
7. 教員の氏名、担当科目及び専任又は兼任の別
8. 生徒の定員及び学級数
9. 建物の位置及び構造の概要
10. 設備の状況並びに備品及び図書の目録
11. 栄養指導の実習施設として利用しようとする施設の名称及び所在地並びに当該施設における実習用設備の概要
12. 施設者の資産状況及びこれに伴う収支予算
13. 指定後2年間の財政及びこれに伴う収支予算（第2項略）

第8条の2 令第4条第4号の規定による養成施設の指定の基準は次のとおりとする。

1. 必修科目の授業時間数は、別表第1に掲げるものの以上であること。
2. 養成施設の長は養成施設の管理の適任者で栄養士の養成に適當であると認められるものであること。
3. 教員の数は別表第2に掲げる算式によって算出された人数以上であること。
4. 栄養学、食品学、調理及び栄養指導の各科目についてはそれぞれ1人以上の教員が専任であること。
5. 教員は栄養士の養成につき当該科目を教授するのに適當であると認められる者であること。
6. 別表第3に掲げる各科目を教授する教員はそれぞれ同表の下欄に掲げる者であること。
7. 1学級の生徒の定員は50人以下であること。

* 本学講師 ** 本学助手

(第8号以下略)

第9条 令第5条の規定により変更の承認を受けるべき事項は同条に規定する事項のほか第7条第8号及び第9号に掲げる事項とする。

指定を受けた養成施設の設置者は第7条第1号、第3号、第4号、第6号(各科目ごとの授業時間数に限る)若しくは第7号に掲げる事項、設置者の氏名若しくは住所又栄養指導の実習施設に変更があったときはその旨を記載した届書を当該養成施設所在地の都道府県知事を経由し厚生大臣に届け出なければならない。

(以下略)

第10条 指定を受けた養成施設は卒業者についてすみやかにその性別、氏名及び生年月日を当該施設所在地の都道府県知事に届け出なければならない。

第11条 指定を受けた養成施設は、毎年7月末日までに下記の事項を養成施設所在地の都道府県知事を経由し、厚生大臣に届け出なければならない。

1. 前年度経費収支決算の細目
2. 当該年度経費収支予算の細目
3. 前年度教授科目別時間数及び栄養指導の実習の実施状況
4. 前年度卒業者の員数及び卒業後の状況
5. 生徒の現在員数

第12条 指定を受けた養成施設の設置者は、その養成施設を廃止したときは、すみやかに、その旨、廃止の理由、廃止年月日及び在学中の生徒の処置を当該施設所在地の都道府県知事を経由して厚生大臣に届け出なければならない。

〔別表〕 必修科目及び授業時数

科 目	時間数	備 考	科 目	時間数	備 考
公衆衛生学	300		食 品 学	270	{理論190 実習 80
公衆衛生機構	(30)		食用動植物	(75)	
衛生法規	(50)		食品化学	(75)	
衛生統計	(60)		食品生産加工及び貯蔵	(75)	
環境衛生	(30)		食品微生物	(45)	
疾病予防	(30)		食品衛生学	150	{理論105 実習 45
母性及び乳幼児衛生	(30)		調 理	390	実習260, 理論130
産業衛生	(40)		栄養指導	370	実習250, 理論120
衛生教育	(30)		食糧経済	60	食糧生産及び配分
栄 養 学	410	理論320 実習 90	食 物 史	30	
栄養学概論	(60)		家庭科学	60	生計費, 燃料厨房設備
栄養化学	(90)		社会福祉	60	{社会事業, 児童福祉, 生活 保護, 社会保険
栄養生理学	(60)		教育心理学	60	
栄養病理学	(60)		経済学及び社会学	90	
母性栄養	(30)		化学及び物理	90	
乳幼児栄養	(45)		語 学	60	{理論 45 実習 45
学童栄養	(30)		計 算	2,400	
病弱者栄養	(35)				

上記の条文にもとづき本学は昭和26年7月9日申請する。以下各条項に従つて設置の概要を述べる。

§1 第7条

1. a) 名 称 京都女子大学家政学部家政学科
b) 所在地 京都市東山区今熊野北日吉町17番地
c) 設立年月日 昭和24年4月1日
2. a) 設立者 学校法人 京都女子学園
b) 寄附行為 (学校法人京都女子学園寄附行為参照)
3. 養成施設の長 京都女子大学学長 増山顕珠

4. 養成規則 京都女子大学学則に準ずる

7. 教員組織 (註3)

8. 生徒の定員及び現在の生徒員数

大学家政学部家政学科 入学定員 60名

現在学生数 第1学年 64名

第2学年 60名

第3学年 58名

9. 敷地及び建物の図面 (註4)

10. a) 教科書 プリント並びに教授の口述による。

b) 教授用の器具、機械、標本及び模型の目録。(註5)

11. 臨地訓練に利用する保健所及び集団給食施設の名称並びにその概要。

a) 京都女子大学寄宿舍（実施中）

錦華寮・第一小松寮・第二小松寮，日吉寮の4寮で寮生約500名。完全給食で栄養調理，一般を実習。

b) 京都市立修道小学校（承諾済）

職員組織	校長	1	計32名により運営， 毎日昼食の給与を行 っている。
	教員	24	
	事務員	4	
	作業員	4	
	調理人	2	

c) 第一赤十字京都病院（承諾済）

職員組織	院長	1	計170名の総合病院。 病人特別食の献立及 び給食を実習。
	副院長	1	
	医長	7	
	事務長	1	
	薬剤長	1	
	医員	25	
	看護婦	56	
	事務員	35	
	薬剤員	8	
	栄養士	1	
	技術者	9	
	業務員	25	

d) 東山保健所（承諾済）

所長	庶務課	庶務係
		普及係
	衛生課	環境衛生係
		食品獣疫係 保健予防係

定員46名で栄養士1名。調理実習の設備はないが栄養指導によつて妊産婦，乳幼児特別食の栄養指導を受ける。

e) 第一工業製薬株式会社京都工場

職員組織	社長	1	主として従業員の 昼食給与。 労務者の栄養につ いて実習。
	京都工場	260	
	本社	230	
	臨時工場	90	
	炊事婦	8	

f) 建物及び図面（註6）

12. 授業料その他収入による

13. 収入の予算書は本学収入計算書による。

以上，旧規則に従って申請しているが新規則の順を追って概要を述べた。尚第8条についても同様であるが，旧規則条文の通りであるので略した。

§2 第9条

1. 昭和27年2月25日

規則第7条第8号生徒定員及び第9号土地建物の一部を変更。

a) 定員 昭和27年度より現行定員60名を120名に増加する。

b) 敷地，建物

敷地 昭和26年10月。京都市東山区今熊野渋谷通り上馬町に448坪72の敷地購入。

建物 上記の敷地に既設の実験室，実習室，講義室の外，下記化学実験並びに研究室，講義室等を新築。

合同化学実験室（70名収容）48坪80（専用）

栄養化学研究室 15坪60（ 〃 ）

特別実験室（30名収容）20坪80（共用）

合同講義室（500名収容）84坪00（ 〃 ）

備考 定員増加及び施設の拡充に伴い

1) 教員組織中専任助教授1名採用（担当科目食品加工及び貯蔵・栄養化学）

2) 機械，器具の購入 化学天秤他 15点

2. 昭和32年6月18日

規則第7条第11号及び同第9条の規定にもとづき栄養指導実習場を変更整理した。

a) 新たに追加する実習施設

1) 日本専売公社京都病院（承認）

2) 日本レイヨン株式会社宇治工場（承認）

b) 実習施設概要（註7）

c) 従来の施設のうち本年度以降実習に使用するもの。丹後中央病院・京都第一赤十字病院・京都中央市民病院・京都大学附属病院・国立福知山病院・舞鶴共済病院・西舞鶴保健所・中京保健所・南保健所・峰山保健所・福知山保健所・宮津保健所・東山保健所・郡是製糸本社・島津製作所三条工場・大和紡績舞鶴工場・第一工業製薬株式会社京都工場・京都女子大学寄宿舍・京都市立修道小学校。従来の施設のうち，上記以外は昭和32年度以降に於いては使用しない。

3. 昭和32年6月26日

規則第7条第11号及び同第9条の規定により栄養士養成施設の栄養指導実習場の追加。

a) 新たに追加する実習施設

1) 京都第二赤十字病院（承認）

2) 鐘淵紡績株式会社京都工場（承認）

b) 実習施設概要（註7）

4. 昭和32年9月11日

規則第7条第11号及び同第9条の規定により栄養士養成施設の栄養指導実習場の追加。

a) 新たに追加する実習施設

1) 日本電池株式会社

2) 京都市右京保健所

3) 京都市伏見保健所

b) 実習施設概要（註7）

§3. 第10条 卒業者の性別，氏名及び生年月日を

京都府知事に届けているが大学及び短大卒業の栄養士有資格者数(国家試験にて取得した者を除く)は下記の通りである。

卒業年月日 (後期卒業者は翌 年3月卒業生の中 に含まれる)	人 員		計
	大学卒	短大卒	
昭和28年8月31日	11	89	100
〃 29年3月15日	11	183	194
〃 30年 〃	18	112	130
〃 31年 〃	54	120	174
〃 32年 〃	47	136	183
〃 33年 〃	55	122	177
〃 34年 〃	68	118	186

今後は出身各府県で申請するよう手続の変更があつたために京都府衛生部では京都府在住の申請者のみを扱うことになった。本学に於いては栄養士課程を取得して、卒業したものの数を知る事になる。

§4 第11条

1. 前年度経費収支決算の細目(註8)
2. 当該年度経費収支予算の細目(註8)
3. a)前年度教授科目別時間数(ここでは栄養指導時間数のみを記す)

大 学

年 度	科 目 (栄養指導)	時 間 数			
		2回生	3回生	4回生	合 計
昭和30年	理 論 実 習	60 120	60 100	32	120 252
〃 31年	理 論 実 習	60 120	60 96	24	120 240
〃 32年	理 論 実 習	60 112	65 112	24	125 248
〃 33年	理 論 実 習	60 112	65 112	24	125 248

短 大

年 度	科 目 (栄養指導)	時 間 数		
		1回生	2回生	合 計
昭和30年	理 論 実 習	60 120	60 130	120 250
〃 31年	理 論 実 習	60 120	60 136	120 256
〃 32年	理 論 実 習	60 112	65 136	125 248
〃 33年	理 論 実 習	60 112	65 136	125 248

b) 栄養指導の実習の実施状況(各年度卒業者の在学中に於ける栄養指導の実施状況)

報告年度	卒業年度	施 設 名	時 間 数			
			2回生	3回生	4回生	合 計
昭和31年	昭和30年	本学寄宿舍 京都大学附属病院, 保健所, 第一工業製薬株式会社京都工場 修道小学校	120	100	32	252
昭和32年	昭和31年	本学寄宿舍 京都大学附属病院, 第一赤十字病院, 中央市民病院, 中京保健所, 下京保健所, 南保健所, 島津製作所三条工場 修道小学校	120	96	24	240
昭和33年	昭和32年	本学寄宿舍 京都大学附属病院, 中京保健所, 南保健所, 島津製作所三条工場, 第一工業製薬株式会社京都工場, 鐘淵紡績株式会社京都工場, 日本レイヨン株式会社宇治工場, 日本電池株式会社 本学寄宿舍	112	112	24	248
昭和34年	昭和33年	本学寄宿舍 京都大学附属病院, 中京保健所, 右京保健所, 下京保健所, 東山保健所, 伏見保健所, 日本電池株式会社 本学寄宿舍	112	112	24	248

短 大

報告年度	卒業年度	施 設 名	時 間 数		
			1 回生	2 回生	合 計
昭和31年	昭和30年	本学寄宿舎 第一赤十字病院, 第二赤十字病院, 第一工業製菓株式会社 京都工場, 中央市民病院, 宇多野療養所 修道小学校	120	100 30	250
昭和32年	昭和31年	本学寄宿舎 日本専売公社京都病院, 第一赤十字病院, 第二赤十字病院, 中央市民病院, 下京保健所, 島津製作所三条工場, 第一工 業製菓株式会社京都工場, 日本レイヨン株式会社宇治工場, 鐘淵紡績株式会社京都工場 修道小学校	120	112 24	256
昭和33年	昭和32年	本学寄宿舎 京都第一赤十字病院, 京都第二赤十字病院, 日本専売公社 京都病院, 中央市民病院, 下京保健所, 右京保健所, 南保 健所, 島津製作所三条工場, 第一工業製菓株式会社京都工 場, 鐘淵紡績株式会社京都工場, 日本レイヨン宇治工場, 本学寄宿舎	112	136	248
昭和34年	昭和33年	本学寄宿舎 京都第一赤十字病院, 京都第二赤十字病院, 日本専売公社 京都病院, 中央市民病院, 下京保健所, 中京保健所, 右京 保健所, 南保健所, 島津製作所三条工場, 第一工業製菓株 式会社京都工場, 鐘淵紡績株式会社京都工場, 日本レイヨ ン株式会社宇治工場 本学寄宿舎	112	136	248

4. 前年度卒業者の員数及び卒業後の状況

大 学

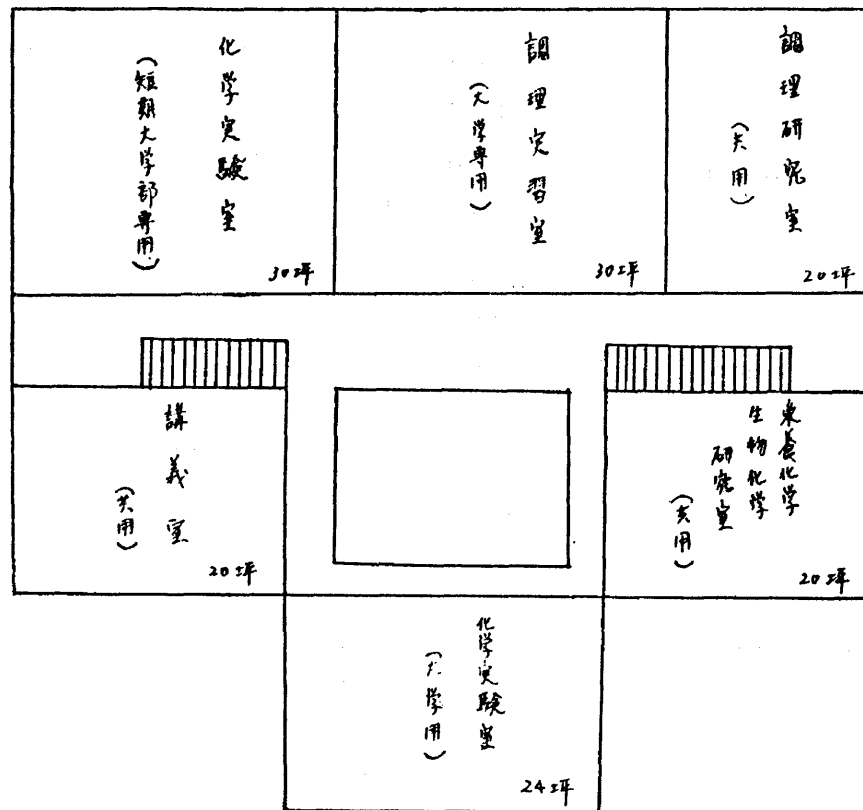
報告年度	卒業年度	員 数	卒 業 後 の 状 況	員 数
昭和31年	昭和30年	53	本学調理化学研究室特別研究生 公・私立病院, 会社給食課 高等学校・中学校の家庭科教諭	1 7 7
昭和32年	昭和31年	53	本学調理研究室特別研究生 高等学校, 中学校の家庭科教諭 公・私立病院, 会社	1 9 10
昭和33年	昭和32年	55	本学調理室特別研究生 本学附属高等学校家庭科教員 株式会社大丸, 長瀬産業株式会社, 市内紫明小学校, 保健所, 病院の栄養士 日本赤十字病院研究生 高等学校家庭科教員 神戸女子短大秘書 会社舍母 会社員	1 1 各1 2 6 1 1 3
昭和34年	昭和33年	68	本学調理研究室特別研究生 出光興産株式会社, 第一工業製菓株式会社, 自衛隊(大久保), 徳島県の寮母 大和紡績株式会社の寮母 高等学校, 中学校の家庭科教員 京都第一赤十字病院, 第二赤十字病院研究生, 国立京都病院実習生, 広島大学助手	2 各1 1 4

報告年度	卒業年度	員 数	卒 業 後 の 状 況	員 数
昭和31年	昭和30年	117	本学調理室助手 本学園中学校家庭科研究生 京都大学附属病院特別調理室，第二赤十字病院，その他各地の公・私立病院，保健所，会社等の栄養士 各地の教員	2 2
昭和32年	昭和31年	123	本学調理研究室特別研究生 京女食堂 第二赤十字病院 その他会社 官公庁 中学校栄養士 自家営業	2 2 3 13 3 3 9
昭和33年	昭和32年	122	本学調理研究室特別研究生 本学事務員 本学附属高等学校家庭科助手 川江之市四国総合病院，鹿児島市立病院，鹿児島県嚙吸郡藤後病院，舞鶴日赤病院，布施市長生院，西日本精工株式会社栄養士 日本レイヨン株式会社宇治工場舎監，栄養士 京都第一赤十字病院研究生 会社員，新聞社員，公務員，中学校家庭科教員，その他4年生大学へ進学するもの	1 1 1 各1
昭和34年	昭和33年	118	豊岡病院，京都府立医大，枚方市有沢病院，嵯峨病院，京都府警察病院，瀬田診療所，近光病院等の栄養士 株式会社萩ノ家，富士車輛株式会社，市立紫野小学校，不二製油株式会社，平安徳義会，無憂国，本学等食堂栄養士 三井銀行の衛生管理者，府立医大助手，大阪テレビ，関西テレビのタレントとして料理番組に出演 鹿児島県立高校教員 第二赤十字病院 三菱銀行，山口銀行 国立京都病院の実習生 郡是製糸の寮母	各1 各1 1 2 2 1

註3) 申請当時の教員組織は次の通りである。個々の詳細は省略する。

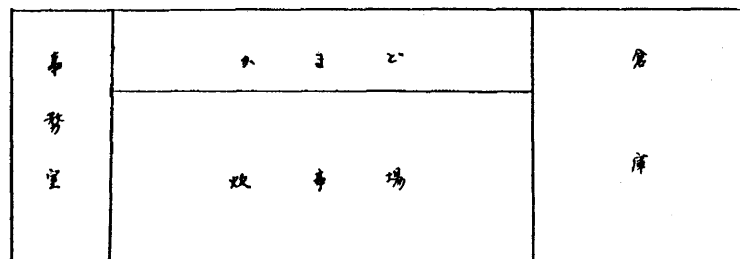
	專 任	兼 任	計
教 授	5	2	7
助 教 授	1	2	3
講 師	3	8	11
計	9	12	21

註8) 1及び2の細目については毎年本学の理事会に於いて決定したものを提出している。



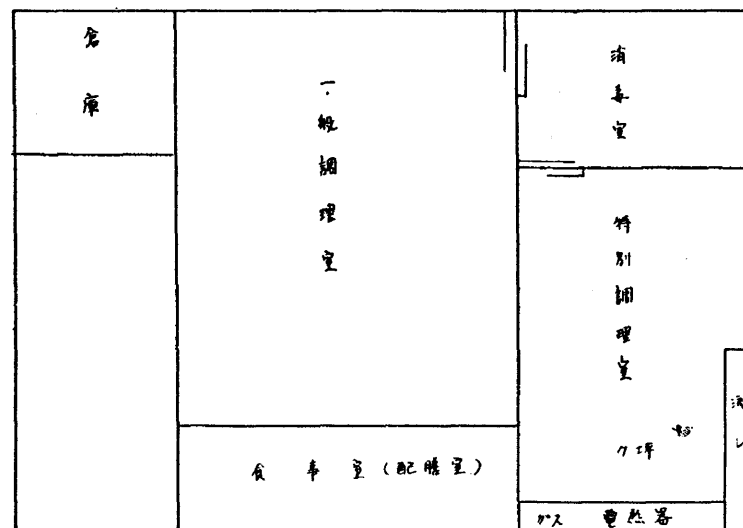
(註4)

京都女子大学 化学研究室 同実習室 調理研究室 同実習室
同短期大学部 化学実習室 講義室 (平面図)



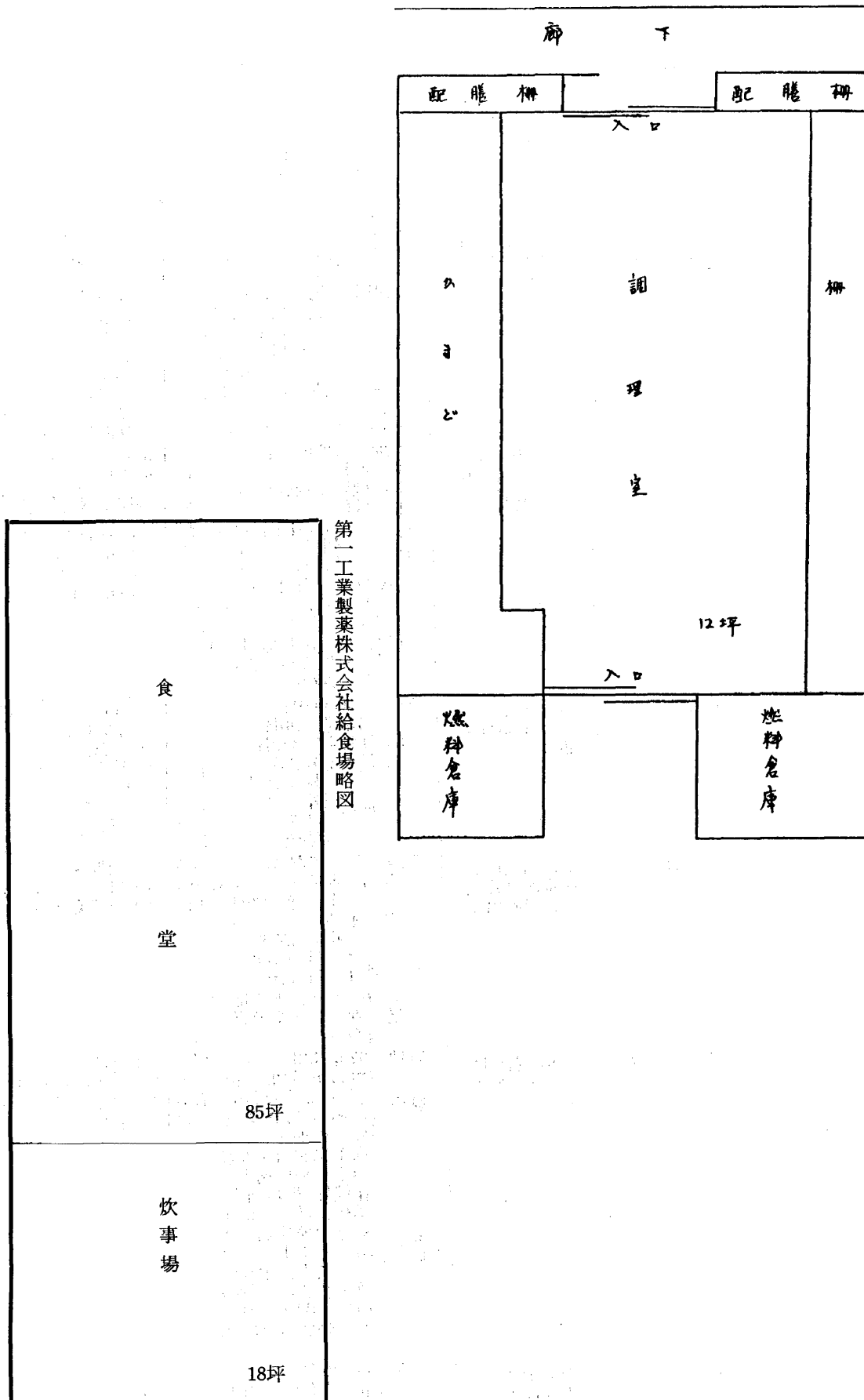
(註6)

京都第一日赤病院調理室特別調理室略図



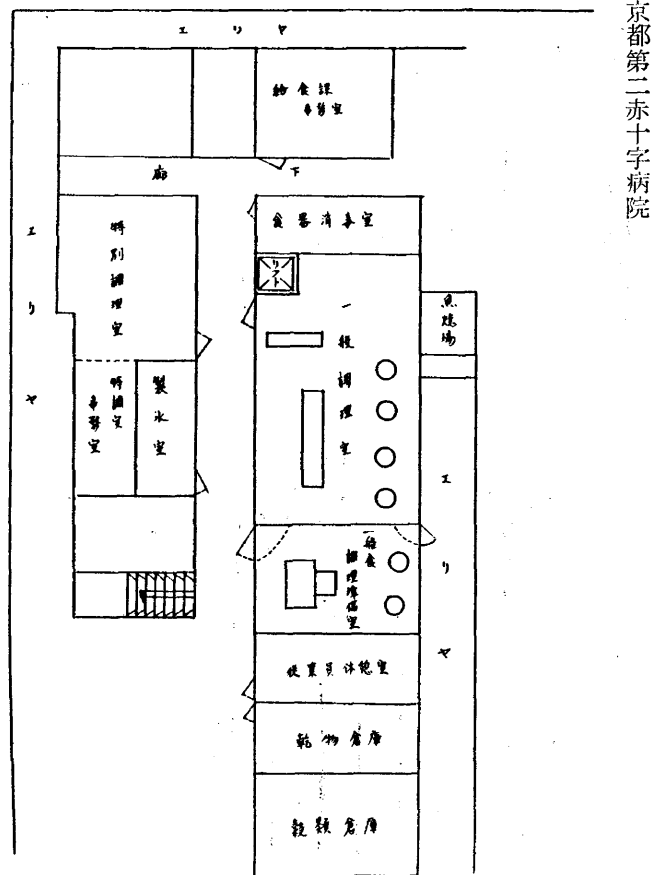
廊 下

京都市立修道小学校給食調理室略図

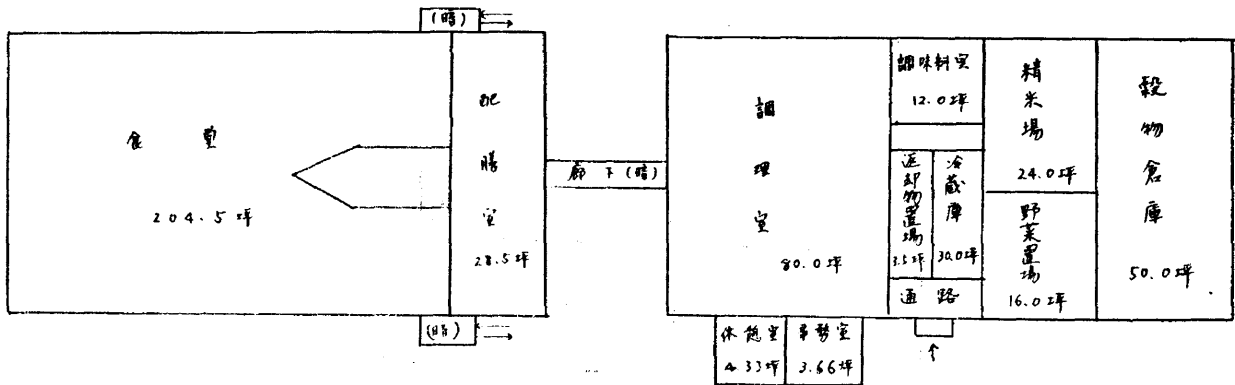


(註7)

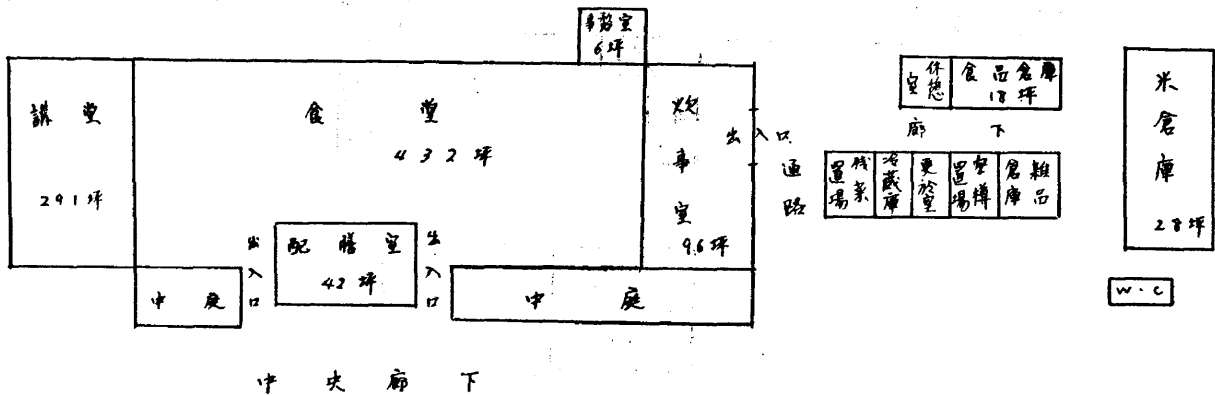
実習施設名	実習施設所在地	実習施設概要	調理給食施設概要	調理関係職員
日本専売公社 京都病院	京都市東山区 東大路渋谷下 ル妙法院前町 447番地	<ul style="list-style-type: none"> 敷地 6,378坪 職員 147名 診療科目 内科, 外科, 整形外科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 皮膚泌尿器科, 小児科, 歯科 病床数 125床 	<ul style="list-style-type: none"> 患者給食のみ直営 中央調理場 { 普通食調理場, 特別食, 食器消毒場 } その他に冷凍庫, 乾燥物庫, 器具庫, 給食専用エレベーター, 給食事務室 	<p>医師課管理で給食担当 医師が栄養衛生指導に 当る職員 事務員1. 栄養士2. 調理士3. 炊 事婦3. 配膳婦2 事務補 助2 1日平均100~ 120名の給食に従事</p>
日本レイヨン 株式会社宇治 工場	京都府宇治市 宇治戸ノ内5 番地	<ul style="list-style-type: none"> 敷地 108,432坪 食堂 男子 204.5坪 女子 180坪 調理室 男子 80坪 職員 男子 284名 女子 6名 従業員 3,678名 { 工員 男子1883名 女子1505名 } 機構 4部12課にて事業 運営に当る 人絹・ナイロンを製造 	<ul style="list-style-type: none"> 工場食(朝・昼・夕・夜)及 残業食を調理 食堂調理室その他の設備 は男子・女子各寄宿舎に 夫々附属する 主要食料貯蔵施設は男子 寄宿舎附属食堂に附属 主たる調理器具 洗米機, ライスボ イラー, 調理機, 切断機, 球根機 	<p>総務部労務課が管理 労務課長の下に 主任 2. 栄養士 1 調理士 21 炊夫 7 (炊夫の内1名は清 掃専従)</p>
京都第二赤十 字病院	京都市上京区 釜座通丸太町 上ル春帯町 355ノ1	<ul style="list-style-type: none"> 敷地 1,976.4坪 本館 { 診療関係166名 事務員 45名 事務員 42名 } 職員 計252名 診療科目 内科(神経科 を含む) 外科, 整形外科 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽 喉科, 皮膚泌尿器科, 小 児科, 放射線科, 歯科 病床数 306床 	<p>完全給食承認, 病院直営の 給食を実施している 給食調理室 { 一般調理室 特別調理室 }</p> <p>配膳室は各病棟に設けてあ る。調理給食に必要な専用 リフト, 食器消毒室, 倉庫 四室, 給食事務室等を完備</p>	<p>調理給食には給食課を 独立して設けている。 給食課長が管理尚運営 は給食運営委員会を設 けてこれに当る</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員 課長1. 栄養士 3. 調理士7. 調理人6. 事務員2. 嘱託1. 研究 生(栄養士有資格者) 3 給食人員 1日平均290~300名 (内特別食約50名)
鐘淵紡績株式 会社京都工場	京都市左京区 高野東開町1 番地	<ul style="list-style-type: none"> 敷地 56,000坪 炊事場木造 96坪 食堂鉄骨造 432坪 従業員 2,132名 事業種類 { 梳毛紡績 原毛課 紡績課 染色課 } 	<p>一般従業員工場食を調理す る主たる調理器具 { 球根皮剥機不能切裁機, 合成調理機, ガス魚焼 機, 材料庫, 炊事, 事 務室, 休憩室 等の設備がある</p>	<p>人事課が管理 課長の下に 栄養士2. 調理士12 炊婦8. 茶運搬1 事務員2</p>
日本電池株式 会社	京都市南区吉 祥院西ノ庄猪 之馬場町312	<ul style="list-style-type: none"> 敷地 27,883坪84 炊事場 木造スレート葺 平家建延20坪 食堂 木造スレート葺平 家建延157坪 従業員 { 職員 405名 工員 770名 } 機構 { 秘書課, 他7部23 課にて事業運営に 当る } 	<p>工場食を調理する 食器消毒槽, 材料庫, 休憩 所食堂等の設備がある</p>	<p>日本電池共済会に於て 運営厚生課が管理, 業 者の請負によつて給食</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生課課長, 係 員 { 長, 栄養士1. 事 務員2. 業長側, 係員, 調理士5 炊事婦1 }
京都市右京保 健所	京都市右京区 太秦桂ヶ原町 911	<ul style="list-style-type: none"> 敷地 970,32坪 職員 { 事務吏員10. 技術 吏員14. 事務員6. 技術員13. 作業員 2. その他4 } 事業概要 { 衛生思想普及及び 向上, 環境衛生, 保健婦, 歯科衛生, 結核, 性病, 伝染 病その他疾病の予 防, 衛生上の試験 及び検査, 栄養の 改善及び飲食物の 衛生に関する事, 人工動態統計に関 する事 } 	<p>栄養室は一般の食事, 病人 の食事, 又は給食施設の栄 養管理の指導を行う設備並 びに器具を有する</p>	<p>栄養指導員(医師)2名 栄養士 1名</p>
京都市伏見保 健所	京都市伏見区 今町659ノ1	<ul style="list-style-type: none"> 敷地 591.00坪 職員 { 事務吏員9. 技術 吏員18. 事務員6. 技 術員16. 作業員2 その他4 } 事業概要 同上 	同 上	同 上

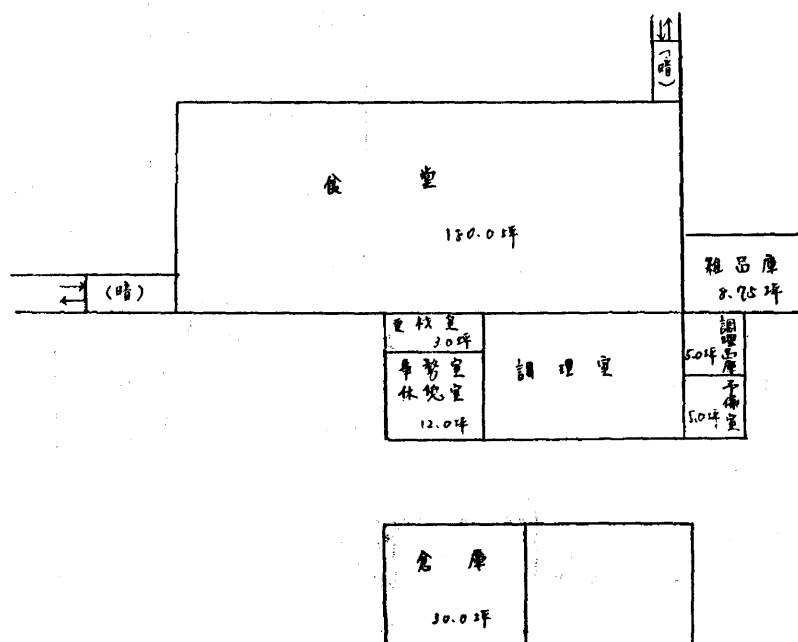
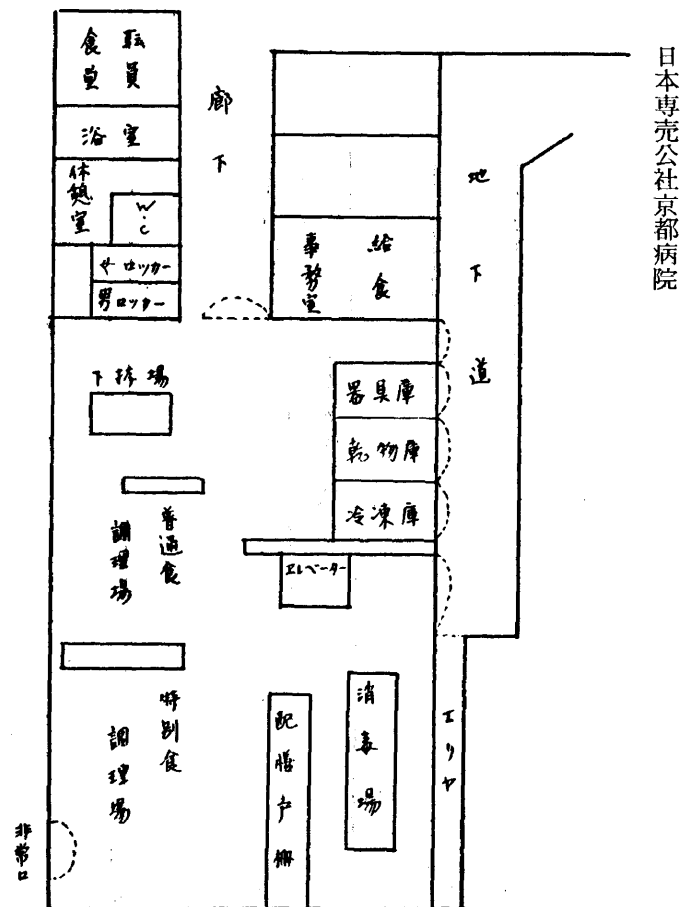


日本レイヨン株式会社宇治工場男子炊事見取略図

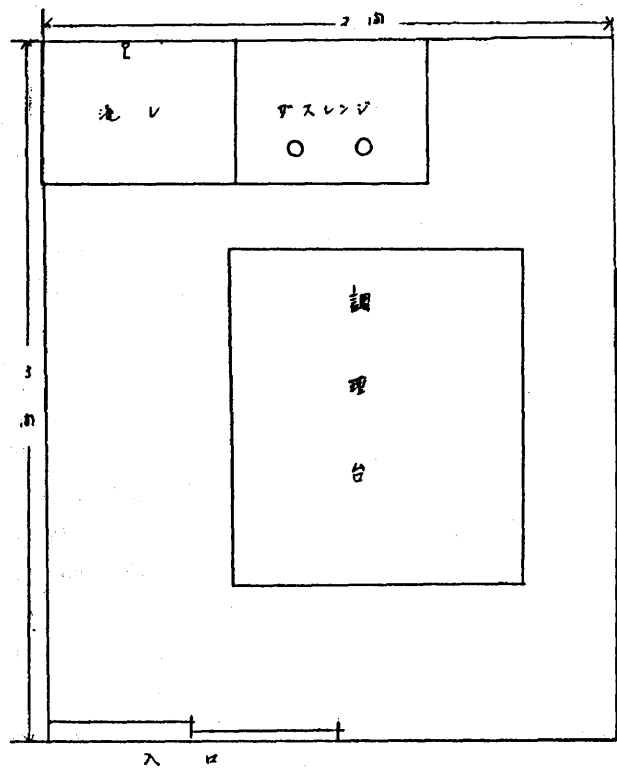
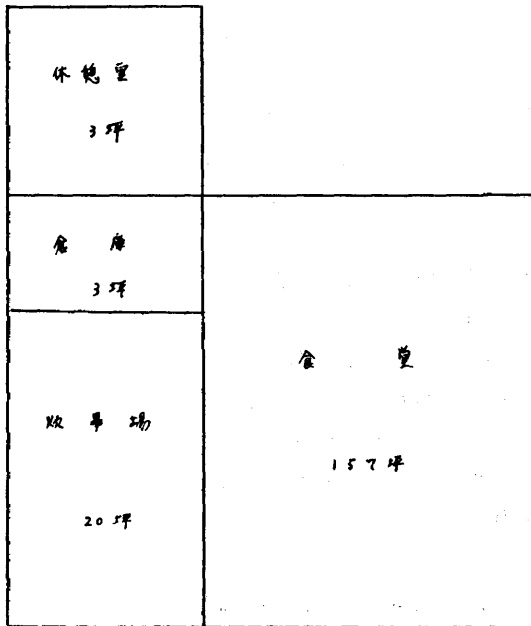


鐘淵紡績株式会社京都工場調理関係施設略図

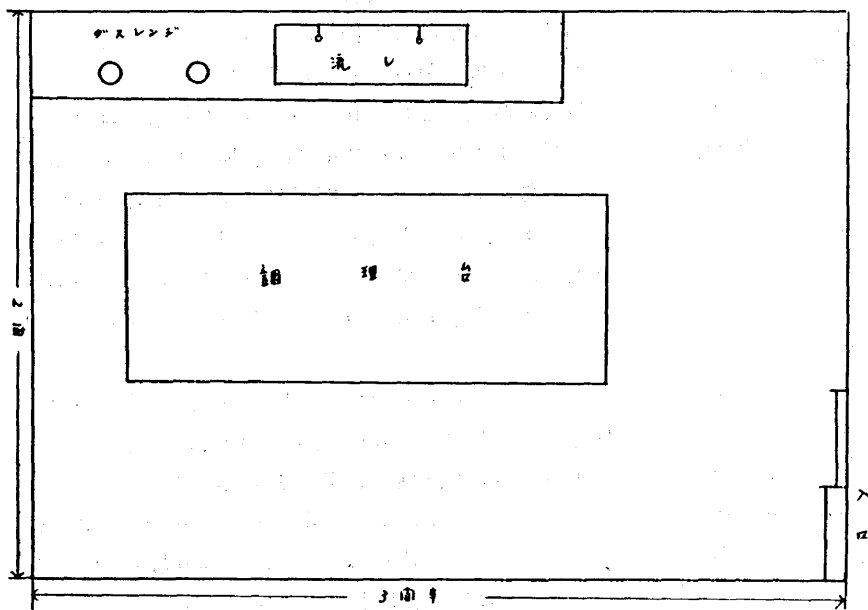




日本電池株式会社調理関係施設略図



右京保健所栄養室略図



伏見保健所栄養室略図

第2章 年間実習計画

§1 法規に規定せられてあるもの

(1)実習時間数 規則第8条の2、第1号の規定に基づき栄養指導実習の総時間数250時間を実施しなければならない。(以下栄養指導実習を栄養実習と云う)

(註) 本学36年度学生実習予定時間数を示せば次の通りである。

施設名	時間	備考
病院	54	実習実施内容は §1 (1) a) 学年別実習施設 割当の項を参照の事
工場	27	
保健所	45	
小学校	32	
錦華寮	96	
総時間数	254	

(2)臨地訓練施設 栄養指導の臨地訓練に利用する施設としては、衛発第486号通牒第18号の規定により保健所、病院、学校、工場その他を定めている。本学に於て常時使用の施設は次の通りである。

保健所・東山、中京、下京、南、右京、北、伏見の各保健所

病院・京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院
京都市中央市民病院、専売公社京都病院、
国立京都病院、京都大学附属病院、

工場・日本レイヨン株式会社宇治工場、鐘淵紡績
株式会社京都工場、日本電池株式会社本社
第一工業製薬株式会社京都工場、島津製作
所三条工場

小学校・京都市立紫明小学校、京都市立砂川小学校
(予定)

学内・錦華寮食堂

§2 年間計画の立案と予約

(1)栄養実習計画の立案 栄養実習の計画とは実習期間並に実習生の割当てであつて、毎年1月4日より1月20日までの間に決定する。これは各施設が実習の受入れを年中行事に組込む必要上、実習計画に基づく申込みを年度始め前に必要とするので2月末日までに各施設に対して実習の申込みをしなければならないからである。計画に当つては、「栄養実習は現行法下の栄養士養成課程としては必要であるが、施設側に受入れ義務がないので本学々長が施設長に御願ひするかたちになつてゐる」と云う事を充分念頭に入れて、施設側の

受入条件の取扱いに留意する必要がある。参考までに保健所実習に関して京都市衛生局からの受入条件についての公文例を巻末に掲載する。

a) 学年別実習施設割当 栄養実習は2ヶ年にわたつて行い、1次実習(即ち短大1回生、大学2回生)、2次実習(即ち短大2回生、大学3回生)に分ける。前年度は3次実習(即ち大学4回生)を行つたが、4回生は卒業論文の作成に時間を必要とするので、本年度は行わない方針である。

1次実習では学生食堂、錦華寮食堂、小学校(予定)、2次実習では工場、保健所、病院の実習施設を使用する。この割振りの意図は、学生食堂は調理設備が整い衛生管理が教育的立場から行われ、又錦華寮は3食給食で営利でない完全給食が行われており、集団給食実習を初めて経験する学生にとつて、来年度に行われる2次実習をより効果的たらしめるに最も適当した施設と考えられるからである。

2次実習の内、病院実習は公衆衛生、栄養学の講義を受けて、小児栄養や病人食の知識を深めた後に行つた方がその実習効果があげられると考えて講義の進行状態より後期(秋期)に実施する。

b) 実習時期・1グループの期間及人数 実習時期は学期初めの単位登録及試験期間、其の他必須の学内行事に支障をきたさない期間を選び各施設側の受入可能な時期とを考へ合せて定めるのであるが、夏期休暇中の実習を除き普通講義を欠く事になる。(この場合の当該実習学生は公欠扱いにする)

本学は栄養士免許証取得希望者が多く、規定実習時間数250時間を満足させるのは容易な仕事ではなく、他府県の実習施設使用禁止や、京都に工場が少い事等の諸条件にあつて特に工場実習にはその余裕がないので、来年度からは実習施設数に余剰を持ち余裕のある計画がたてられる様、1,2ヶ所の工場実習施設の追加を考えて、学生実習に適した施設の物色及交渉に努力している。

1グループの実習期間及人数は各施設の受入期間及收容人員と実習学生数及時間数を照合して定める。

(2)前述の実習計画の立案に基づき次に規定する公文により2月末日までに施設長宛に施設使用の願ひ出をし予約する。これが絶対必要なのは京都市衛生局管下の各保健所並びに京都府教育庁管下の小学校であり、前者は京都市衛生局長宛で衛生局保健課に後者は京都府教育委員長宛で教育庁学校給食課に提出する。他の施設は大体これに準じて行う。但し学内施設使用の場合は本学立案により行い、実習期間中の学生は公欠に願

e) 又学生が学校で得た理論と実際の矛盾や差異についての疑問を抱く点が多々あると思われるが、この

京女大発○号
昭和 年 月 日
京都女子大学 学長 藤音得忍
同短期大学部
栄養士資格取得のための栄
養実習生名簿御送付の件
本学家政学部並に短期大学部家
政科学生の栄養実習につきまし
ては先に京女大発第○号を以て
御依頼申し上げましたところ御
多用にもかかわらず早速に
御聞き届けていただきまして深く
感謝致しております。
つきましては実習生の名簿、実
習期間の一覧表を御送付申し上
げますので何卒格別の御高配を
賜ります様御願い申し上げます

公欠願
大学家政学部食料科○回生
(又は短大家政科食物専攻)
学生番号
氏名
私儀

左記の通り欠席致したく存じますので公欠扱いに御願
い申し上げます
月日

京都女子大学学長殿

一、理由 ○○に於ける栄養実習のため
期間 年月日
年月日まで
(空欄をあけておくこと)

昭和年度栄養実習期間中の学生の公欠扱いについて
一別紙の通り大食○回生、短食○回生が栄養実習に
参加致しますので当該学生の実習期間中の欠席は公欠
扱いに御願申し上げます
昭和年月日

教務課

この事は厚生省に於ても奨励されている事でもあり
本学としても学生が栄養実習の実力を養い、栄養士と
して就職する場合に、より豊富な実習経験を得ておく

の点を徹底させる必要がある。

京都市微生物研究所

電⑦3854番

栄養実習の報告は各自実習終了後、各施設毎に次に記す所定の用紙に記入し提出させる。この報告は学生にとって実習に対する希望や感想をまとめてみると云う意味に於て、又栄養指導担当者にとっては各施設の実習状況や学生の実習効果を知り、栄養実習のオリエンテーションをより充実させるためのかけ橋の一つとして貴重な資料となっている。

a) 人の和について。現場の若い栄養士と何十年の経験をもつ調理士との関係の困難さ。

- b) 栄養士の施設内に於ける地位。
- c) 栄養士の仕事の膨大な事に対する驚き。
- d) 現場の栄養士の活躍を見ての自覚。
- e) 理論と実際の矛盾。
- f) 施設の実習関係者特に指導栄養士に対する感謝
- g) 各施設の規律についての感想。
- h) その他である。

これ等の内容は「学生の実習報告書」を参照の事

報告書形式

栄養実習報告書
所屬 氏名

左の通り実習いたしましたので
御報告申し上げます

昭和 年 月 日

京都女子大学
同短期大学部学長殿

実習場
実習期間
実習指導者
勤務時間
実習日程

注意
事項
感想
一人一ヶ所につき
一枚提出のこと

実習の成績は各自が各施設毎に規定の成績票を持参する。

評価は施設の実習指導担当の栄養士に実習に対する誠意，積極性，技術等についての総合成績を，今までは点数で評価する様依頼していたが実際問題として点数評価が困難であるので今後は次の様な形式で行いたいと考えている。即ち総合評価はABCDEの五段階に分けて行いその評価基準は次の通りである。

昭和 年 月 日
 京都市東山区東山七条
 京都女子大学
 同短期大学部 学監 羽溪四明

学生の○●栄養実習の件照会

今般左記学生が貴○●に於きまして栄養実習を実施いたしたき旨申し出ておりますので御多用中誠に迷惑となさるべく左記により実習指導並にこれに伴う○●調理場使用について、何分の御配慮をお願い申し上げます尚当実習は、栄養士資格取得のため栄養士法に基づいて練、実地見学等の目的を有するもので、本人は栄養士法に基く栄養実習は他に受けております又本人は来春三月栄養士の免許証を取得予定の者である事を申し添えます

記

一、氏名
 一、期間
 所属
 氏名

栄養実習費は各施設への謝礼金及び栄養実習に伴う事務費及びその他にこれを当てる。但し次年度よりは栄養士課程履修費として実習費を含めた義務金が課せられる。

a) 検査期間及び手続き

毎月2回行うのを原則としている。検査物はマツチ箱に入れて包装し、所属（学科、学年、学生番号）及び氏名を明記し、証明書の必要数を「何通必要」と記入し、所定の場所に置く様学生に指導し教務課が一括してその手続をとっている。但しこの期間に検査を受けなかつた者及び7月、8月の休暇中に必要とする者は、個人で後記の検査所へ持参し代金を支払つて検査を受け各自で検査証を受領しなければならない。

有効期限は大体1ヶ月とするが情况及び実習先の指定により若干変更する事がある。

1 保菌検査 a 赤痢菌 b 病原菌
2 寄生虫卵検査 a 十二指腸虫卵 b 蛔虫卵
 c 条虫卵 d 蟯虫卵
 e 鞭虫卵 f その他寄生虫卵

これ等の検査は何処でも簡単に出来るものでなく又一種目でも欠けてはならない。

休暇中に帰省した折郷里の保健所等で検査を受ける者があるが、検査の中でも特に大切な赤痢菌、十二指腸虫卵等の検査が出ていなかった例が多いので特にこ

- A……特に優秀なもの
B……優れている
C……普通

- D……栄養士として不適格と思われるが本人の
努力により見込のある者
E……栄養士として不適格なもの

成績票様式

短食 No.	昭 和 年 月 日	指導機関名	右の通り報告いたします	一、概評（将来参考になる様な事があれば具体的に御記入下さい）	<p>評価は実習に対する誠意、積極性、技術等についての総合成績を次の五段階により御記入下さい</p> <p>A……特に優秀なもの B……優れている C……普通 D……栄養士として不適格と思われるが本人の努力によつては見込みのある者 E……栄養士として不適格な者 註D Eは不合格</p>	一、成績評価	月	日	出席	印

京都女子大学
短期大学部実習生成績票

家政科 回生 氏名

(9)謝礼

実習終了後施設長宛に謝礼金を呈し、挨拶に廻る。同じ施設で春期、秋期等二期又はそれ以上断続して実習する場合にはその都度謝礼の手続きをとる。

(10)公文書その他書類の保管

a) 公文書及其他これに準ずる書類はその都度5通作成する。

5通の内2通は実習施設へ渡し、本学教務課、庶務課へ各1通宛保管依頼をし、1通を栄養指導担当者が保持している。

b) 他個々の学生の実習報告書及成績票を各科番号順に整理し、それぞれ「実習記録」「成績票」の表題を付して製本し保管している。

c) 全期間を通じて栄養実習日誌を記載している。

公文例 (§2. (1))

京都市衛生局公衆衛生課より保健所実習の受入条件

京都女子大学学長
同短期大学部
増山顯珠殿

発衛公第290号
昭和32年1月17日

京都市衛生局長

今村久吉郎 ㊞

栄養士養成施設学生の保健所における栄養指導実習について

貴学〇〇科学生の栄養士法第8条の規定による栄養指導実習については本市保健所において実施せられて

きたところでありますが、各施設学生の実習期間、内容に差異があり、又各施設の希望実習期間が重なりその受入及び本市保健所業務に支障をきたすこととなつておりますので今般別添のとおり「栄養士養成施設学生の保健所における栄養指導実習業務取扱要領」を定め本実習の円滑化をはかることとなりました。ついては今後本市保健所を使用して当該実習を行う場合は本要領に基き実施せられるよう通知します。

なほ昭和32年度の実習計画を昭和32年2月末日までに公衆衛生課長宛提出されるようお願いします。

栄養士養成施設学生の保健所における栄養指導実習業務取扱要領

1 趣旨

本市内に現存する栄養士養成施設の学生が栄養士法第8条の規定に基く栄養指導（保健所）実習（以下「保健実習」という。）のため本市保健所においてその指導を行つてきたところであるが、各養成施設及び各保健所によりその実習内容に差異があるので本市保健所を使用しての保健所実習の基準及び業務の取扱を定めて、その内容の統一充実をはかるようとするものである。

2 保健所実習の目的

保健所実習によつて養成施設における栄養指導の理論に基き保健所の性格を知り、保健所業務の実際こと

に栄養士の指導業務の実態を正確に習得し、栄養行政の概要を把握して将来の栄養士業務に資するものである。

3 保健実習の期間

本市保健所を使用して行う実習期間は次の3種類とし、各養成施設の実情により決定するものとする。但し(1)に定めたものを本市保健所を使用して行う保健所実習の最少期間とする。

(1) 5日間

(2) 7日間

(3) 10日間

4 保健所実習の内容

保健所実習の内容及び日程は前項に定められた各期間に概ね別表のとおりとする。

但し保健所業務の関係により1部変更することができる。又保健所、養成施設の実情により実習学生に対し保健所における実際の講義はまとめて当該施設又は保健所において実施することができる。

5 保健所実習の申込み及び受入計画

(1) 各養成施設の長は毎年2月末日までに翌年度の実習計画(実習期間、実習人員、実習保健所)を衛生局公衆衛生課長宛提出し実習申込をすること。

(2) 各養成施設の申込みに基づき各施設の実習期間及び各保健所の業務を勘案して実習保健所を調整割当し、その年度の実習受入計画をたて実習受入れ保健所に通知する。

(3) 前号により各養成施設の実習計画に変更をきたした場合はその旨当該施設の長に連絡すること。

6 保健所実習の受入れ

(1) 実習計画に基づき各養成施設の長は実習期間2週間前までに市長宛の願書を衛生局公衆衛生課に提出すること。

(2) 実習受入れ保健所は本要領にもとづき保健所の計画を樹立し実施するとともに実施計画書を公衆衛生課に提出すること。

(3) 保健所実習終了と同時に各施設所定の証明書又は調査書に所要事項を記入捺印の上、各養成施設長宛厳封の上提出する事。

別 紙

(1) 5 日 間 の 日 程

	実 習 項 目	
	午 前	午 後
第1日	保健所の機構と業務 (所長) 所内見学	保健所の栄養業務の概要 (栄養士)
第2日	乳幼児クリニックにおける栄養指導のあり方及び同実際 (栄養士)	栄養教育の技術及び方法 (栄養士, 普及係長)
第3日	結核クリニックにおける栄養指導のあり方及び同実際 (栄養士)	講習会の開き方及資料の作成 (栄養士)
第4日	妊産婦クリニックに於ける栄養指導のあり方及び同実際 (栄養士)	講習会の実際及び批判 (栄養士)
第5日	食品衛生業務と栄養 (食品獣疫係長, 栄養士) 集団給食指導の方法 (栄養士)	集団給食施設の見学及批判会 (栄養士) 保健所実習について座談会

(2) 7 日 間 の 日 程

	実 習 項 目	
	午 前	午 後
第1日	保健所の機構と業務及び所内見学 (所 長)	保健所の栄養業務の概要 (栄養士)

第2日	結核クリニックにおける栄養指導及び実際 (栄養士)	栄養教育の技術及び方法 (栄養士)
第3日	乳幼児クリニックにおける栄養指導及び実際 (栄養士)	離乳期食指導講習会 (医師, 栄養士)
第4日	妊産婦クリニックにおける栄養指導及び実際 (栄養士)	母親教室見学 栄養改善講習会献立作成 (栄養士)
第5日	結核クリニックにおける栄養指導の実際 栄養改善講習会準備	栄養改善講習会参加 (栄養士)
第6日	食品衛生業務と栄養 (食品獣疫係長栄養士) 乳幼児クリニックに於ける栄養指導の実際(栄養士)	集団給食指導の方法及び同施設の見学 (栄養士)
第7日	結核患者食糧の献立作成及び同クリニックにおける栄養指導 (栄養士)	レポート作成及び保健所実習について座談会

(3) 10 日間の日程

	実 習 項 目	
	午 前	午 後
第1日	保健所の機構と業務及び所内見学 (所 長)	保健所栄養業務の概要 (栄養士)
第2日	栄養教育の技術及び実際 (栄養士)	クリニックに附随した栄養指導の方法 (医 師 栄養士)
第3日	乳幼児クリニックにおける栄養指導の実際 (栄養士)	乳幼児栄養摂取量の算出結果にもとづく指導方法 (栄養士)
第4日	結核クリニックに於ける栄養指導の実際(栄養士)	結核患者の食糧構成に基く献立作成及び批判会 (栄養士)
第5日	妊産婦クリニックに於ける栄養指導の実際 (栄養士)	母親教室見学
第6日	講習会の開き方 (栄養士) 乳幼児クリニックに於ける栄養指導の実際	離乳期食指導講習会参加
第7日	病人食の指導方法 結核クリニックにおける栄養指導	集団給食指導の方法
第8日	食品衛生業務と栄養 栄養に関する諸調査	集団給食施設見学及び批判会
第9日	栄養改善講習会 献立作成批判会	栄養改善講習会参加
第10日	栄養関係施設見学	レポート作成及び保健所実習について座談会